

地域福祉活動計画策定に向けて 地域で活発な議論

明石市社会福祉協議会では、地域福祉を推進していく具体的な活動方策を定めることを目的に、平成23年度～平成27年度の事業活動の指針となる「明石市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」の策定作業を進めており、平成23年3月の策定をめざしています。

策定にあたり、昨年度、市民のみなさまにご議論いただくためのたたき台を作成し、重点的に取り組むポイントとして5つの項目をあげております。これを土台にして、地区社会福祉協議会やボランティア団体、障がい者団体など幅広い市民の方々からご意見を聞きながら、実効性のある計画に仕上げたいと考えています。

なお、このたたき台は明石市社会福祉協議会のホームページに掲載しております。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。

地域福祉活動計画の5つのポイント

- 1 地区社会福祉協議会の活動支援を強化する
- 2 担い手養成とネットワーク化支援を推進する
- 3 住民と一緒に人のつながりを拓けていく
- 4 フォーマルからインフォーマルまで一貫した視点で地域生活を支える
- 5 市社協の体制を強化・充実する



望海地区社会福祉協議会

《《
地域福祉活動計画
意見交換会のようす
》》



大久保北地区社会福祉協議会

善意銀行 (平成22年4月1日～平成22年6月30日の実績 ※敬称略)

善意銀行とは、みなさまから寄せられた善意の金銭・物品の預託を受け、効果的に社会に還元することで、社会福祉の増進を図ろうとするものです。期中の実績は次の通りです。

☆金銭預託(166,000円)

美里厚生館まつり実行委員会 辻井利彦 ステーションプラザ明石共栄会
明石魚の棚商店街 匿名4件

☆物品預託(車椅子など)

西尾忠良 (財)少林寺拳法連盟明石支部

☆金銭払出(70,000円)

明石小コミセン日本語教室
視覚障害者ダンスサークル「フレンド」 西明石日本語教室へ
金銭の払出を行いました。

みなさまの
善意に
感謝します。

